

群馬県で 個人では国内最大級 ※1 レベルの太陽光発電所がスタート。



※1：当社調べ（2013年6月20日現在）

※2：NEDOの日射量データを基に当社にて算出

※3：計算式【年間予測発電量×314.5g-CO2/kWh÷1000】

※4：計算式【年間予測発電量×0.227L】

※5：計算式【CO2排出削減量÷14kg】

【概要】

規模	太陽光モジュール(パネル)	960 枚
	敷地面積	2,960㎡
出力規模	システム容量	240KW
発電量	年間予測発電量 ^{※2}	約265,000kWh
	CO2排出削減量 ^{※3} 1年間	約83,339kg-CO2
	石油削減換算量 ^{※4} 1年間	60,153 リットル
	スギの植林効果 ^{※5} 1年間	約5,953 本
所在地	群馬県渋川市石原	
発電所名	渋川エバーグリーン発電所	



施工・保守管理 株式会社アルパテック お問い合わせ 0120-354-552

※1：未来ジパング テレビ東京 2012年10月15日放送

※2：兵庫県 山王自治会発電所

【背景】

群馬県渋川市石原に在住の学習塾を経営する小淵肇氏が自身の所有している約1,000坪弱の耕作放棄地を農地転用し、そこに新たに太陽光発電所を設置して土地の有効活用を行う。当初から地元地域の将来発展に強い関心を持っていた小淵氏は、テレビ番組で放送された『"地域おこし"に貢献する太陽光発電の運営』を観て^{※1}、実際にその番組で見た兵庫県の発電所^{※2}に足を運び、実物を目の当りにしたのがきっかけ。小淵氏の希望として、この発電所が耕作放棄地の使い道に悩む地元の方々にとって試験的な土地活用の例となり、作物が耕作できないならば、せめてクリーン・エネルギーを収穫しようと呼びかけられる施設になって欲しいとのこと。地域経済を活性化するためにたった一人であっても、少しずつ変化を起こそうと立ち上がった、一個人が経営する太陽光発電所。